

【別紙1】第24回社会保障審議会統計分科会生活機能分類専門委員会（意見・対応一覧）

	対象資料	対象用語・対象頁	意見等	ICF委員会としての対応等(才藤委員長と相談の上、決定)
1	【資料2】All Index Terms (2023年1月公表版) V章の和訳案	B列ID 106510	ID 106510 screaming 和訳1を「叫ぶこと」→「叫ぶ」に修正 →前の用語との並びであれば「叫ぶ」の方がよいのではないかと思います。	ICF（生活機能分類）の訳語を尊重し、原案のままとする。
2	【資料2】All Index Terms (2023年1月公表版) V章の和訳案	B列ID 106192, 106201, 106202, 106207, 106213, 106232, 106234, 106236, 106238, 106240, 106260, 106307, 106381, 106383, 106600, 106601, 106603, 106619, 106629, 106633, 106642, 106645, 106694, 106701, 106745	①ID 106192 Dividing attention 和訳2に「注意の分散」を追加	①意見どおり和訳2に追加する。
			②ID 106201 memory span 和訳2に「記憶容量」、和訳3に「記憶能力」を追加	②ICF（生活機能分類）の訳語を尊重し、追加は行わない。
			③ID 106202 remembering 和訳2に「記憶の想起」を追加 →心理学・教育学の分野では想起を用います。	③意見どおり和訳2に追加する。
			④ID 106207 Retrieval and processing of memory 和訳2に「記憶の想起と処理」を追加	④ICF（生活機能分類）の訳語を尊重し、追加は行わない。
			⑤ID 106213 Psychomotor control 和訳2に「精神運動制御」を追加 →心理学分野ではcontrolを制御と訳すことが多い。	⑤意見どおり和訳2に追加する。
			⑥ID 106232 Auditory perception 和訳2に「聴覚知覚」を追加 →心理学の専門用語にあり、音の認知の脳での解釈までを表す用語とのこと。	⑥意見どおり和訳2に追加する。
			⑦ID 106234 Visual perception 和訳2に「視覚知覚」を追加 →脳での解釈までを表す用語です。	⑦意見どおり和訳2に追加する。
			⑧ID 106236 Olfactory perception 和訳2に「嗅覚知覚」を追加 →脳での解釈までを表す用語です。	⑧意見どおり和訳2に追加する。
			⑨ID 106238 Gustatory perception 和訳2に「味覚知覚」を追加 →脳での解釈までを表す用語です。	⑨意見どおり和訳2に追加する。
			⑩ID 106240 Tactile perception 和訳2に「触覚知覚」を追加 →脳での解釈までを表す用語です。	⑩意見どおり和訳2に追加する。
			⑪ID 106260 Control of thought 和訳2に「思考の制御」を追加	⑪意見どおり和訳2に追加する。
			⑫ID 106307 Simple calculation 和訳2に「単純な計算」を追加	⑫意見どおり和訳2に追加する。
			⑬ID 106381 Lateralization of sound 和訳2に「音の側方化」を追加	⑬意見どおり和訳2に追加する。
			⑭ID 106383 Speech discrimination 和訳2に「語音弁別能」を追加	⑭ICF（生活機能分類）の訳語を尊重し、追加は行わない。
			⑮ID 106600 Functions related to mucus 和訳1を「唾液に関連する機能」→「粘液に関する機能」に修正 →mucusを唾液と訳されていますが、確認しても「粘液」のように思われます。	⑮意見どおり和訳1を修正する。
			⑯ID 106601 Production of mucus 和訳1を「唾液の産生」→「粘液の産生」に修正 →mucusを唾液と訳されていますが、確認しても「粘液」のように思われます。	⑯意見どおり和訳1を修正する。
			⑰ID 106603 Transportation of mucus 和訳1を「唾液の流出」→「粘液の流出」に修正 →mucusを唾液と訳されていますが、確認しても「粘液」のように思われます。	⑰和訳1を「粘液の輸送」に修正する。
			⑱ID 106619 choking 和訳1を「窒息感」→「窒息」に修正 →chokingは窒息と訳すことが多いと思いましたが。「窒息感」の用語からは窒息している状態とは異なるイメージを浮かべます。	⑱ICF（生活機能分類）の訳語を尊重し、原案のままとする。
			⑲ID 106629 Sucking 和訳1を「吸引」→「吸啜」に修正 →suckingは母乳を飲むときに用いられ、「吸啜」の専門用語があります。吸引とは意味が異なるように思います。	⑲和訳1を原案のままとして、和訳2に「吸啜」を追加する。
			⑳ID 106633 Chewing 和訳1を「臼磨」→「咀嚼」に修正 →chewingは噛むことなので「咀嚼」の専門用語があります。	⑳ICF（生活機能分類）の訳語を尊重し、原案のままとする。
			㉑ID 106642 Oral swallowing 和訳2に「口腔期嚥下」を追加 →他の表現と整合	㉑意見どおり和訳2に追加する。
			㉒ID 106645 Pharyngeal swallowing 和訳2に「咽頭期嚥下」を追加 →他の表現と整合	㉒意見どおり和訳2に追加する。
			㉓ID 106694 Sensation of nausea 和訳2に「嘔気」を追加 →専門用語です。	㉓意見どおり和訳2に追加する。
			㉔ID 106701 globus feeling 和訳1を「つかえ感」に修正、和訳2に「異物感」を追加 →globus feelingを調べると、「つかえ感」（喉のつかえ感）を意味しているようです。	㉔和訳1を原案のままとして、和訳2を「喉のつかえ感」、和訳3を「喉の異物感」に修正して追加する。
			㉕ID 106745 tolerance to heat or cold 和訳1を「暑さや寒冷への順応」→「暑さや寒冷への耐性」に修正 →tolerance to heat or coldの「tolerance」は耐性と訳すことが多いように思いましたので、記しました。	㉕意見どおり和訳1を修正する。